

しゃりん 5月 発行

◎特集

第6回沖脊協通常総会開催!

2p

就労支援事業所障がい者ITサポートおきなわ

平成29年度事業報告

3・4p

役員紹介

5p

調べてみました

障害者制度が

新しくなったり
変わったりしています

西原町自動車改造助成制度廃止!?

6p

バリアフリースポット LaLa Primo

7p

脊損サポート情報

ピアサポートHP完成

8p

お知らせ

寄付のお礼

8p

編集後記

8p

第6回沖縄脊協通常総会開催！



5月19日(土)午後、サン・アビリティーズうらそえの会議室において、平成30年度(第6回)通常総会と講師を招いての講話が開催されました。当日は梅雨とは思えない晴天のおかげか、予定を上回る多くの会員が集まりました。

13時30分から理事の神里さんの司会進行で総会が始まり、仲根理事長のあいさつの後に障がい者ITサポートおきなわがテレビ番組で放送された映像と沖縄協の活動ダイジェストスライドショーが流れ、それから平成29年度の活動と決算報告と続きました。

沖縄協が事業運営をする障がい者ITサポートおきなわが平成29年度に初めて黒字化を達成し、A型事業所による一般就労実績の定員比率が全国的に特筆される高い実績を残したという報告がありました。



平成30年度の事業計画では、障がい者入所施設及びリハビリ病院訪問相談活動のピアサポート事業や3年ぶりの改造装置車両の整備点検、沖縄県障がい者ITサポートセンター事業の受託運営など多くの案が予算案とともに承認されました。

他に会員からは、仲根理事長が障がい者ITサポートおきなわの所長を兼務していることへの心配の声や、昨年ぎのわん車椅子マラソン大会が廃止になる

前に沖縄協として何かできたのではなかったかという声も上がりました。

休憩をはさんで16時過ぎから講話が始まりました。講師は読谷村在住で日本マイクロソフト株式会社の人事本部の普久原朝親さん。テーマは「テレワークで働くことと、海外のバリアフリー事情」。

27年前、15歳の時にカナダで頸髄を損傷されてから現在に至るまでのことと、テレワーク、海外のバリアフリー事情について話してくれました。テレワークは一般的な在宅は違って、いつでも、どこでも、誰とでも場所と端末を選ばずクラウドを使えば仕事はできると話され、東京から沖縄へ来てそれを実践され、結果を出していることに対して凄いと思いました。外資系IT企業の最先端の働き方ではありますが、このような働き方が身近に普及していけば障がい者の雇用機会の増加にも期待できそうです。

講話後は会員から多くの質問等が出て関心の高さがうかがえました。

最後は参加者全員で記念撮影をしましたが、その後もロビーや玄関で会員同士が談笑し、帰るのが名残惜しい状況がありました。(大城一志)



就労支援事業所 障がい者ITサポートおきなわ 平成29年度事業報告

昨今、就労継続支援A型事業における全国的な問題となった不適正運営の影響によって、国として制度改正による適正（給付費を賃金に充てない）の厳格化は、本事業所にとって「とばっちりを受けた」といえます。

「法令遵守」として、開始から給付費を賃金に充てることなく、赤字については借り入れ充当し対処してまいりました。「労働時間の選択制」や「就労継続でも一般就労促進」という経営スタンスを貫いて運営してきたことに誇りと自負を持っています。

しかしながら、就労継続A型事業におけるA型スタッフの供給力に対して、仕事の受注力が弱いことから、当面は供給の適正化として「定員減」の対策を講じ平成30年2月から「定員10名」としました。同時に年度当初から新規開始していた就労移行支援事業の定員を「定員10名」と4名増にしました。

A型事業の「需給に見合った定員の適正化」とこれまでの生産活動評価による口コミやホームページやしゃりん（法人機関紙）による相談支援事業者等への広報強化が功を奏し、仕事受注量の増加につながり、生産活動収入が賃金支給を上回ることができました。

また、一般就労促進の強化が実り7名就職支援す

ることができました。特筆は障害者就業生活支援センター等の連携が推進され、事業所の大きな目標となるテレワーク就労者を輩出することができました。

就労移行支援事業においては、テレワーク活用し、ビジネス基礎からDTP、WEBといったクリエイティブ人材育成の訓練プログラムを取り入れて4月からスタート。早々に重度の脳性麻痺障がいの方利用があり、3か月後には一般就労につながったことは評価されることです。

頸髄損傷者3名も利用し、うち2名が別府重度障害者センター修了者であり一人暮らしチャレンジの方方で、法人目的に沿った役割機能が発揮できたことは喜ばしい状況でした。

一方では、スキルの高い人材の一般就労化は生産力に影響があったことは否めません。今後もクリエイティブ人材流出が続くことを想定した受注種目の対策は重要な方向性となりました。

併せて、情報アクセシビリティ業務として推進目標とした「ICC検査員」が前記の通りの理由もあり、進めることができなかったことは反省したいと思います。



■障がい者ITサポートおきなわ 実績状況 (平成30年3月現在)

総括

- ▶ A型事業の収益力に見合った定員とするために、14名⇒10名とし、就労移行を6名⇒10名に変更した。
- ▶ 一般就労実績（A型7名、就労移行1名）が高く、初のテレワーク就労1名につながった。
- ▶ 生産収入（売上げ）がA型スタッフ給与を上回った。（※全脊連からの受託収入350万）
- ▶ リフト付き車両が導入された。
- ▶ 一般就労への促進で、スキルを持った人材の流出となったことから、どうしてもデータ入力作業中心にならざる負えない。

■利用状況（平成30年3月現在）

	就労継続支援A型	就労移行支援
定員	10名	10名
3月末の利用者数	10名	6名
障がい状況	肢体不自由5名 内部障がい1名 精神障がい2名 発達障がい2名	肢体不自由5名 精神障がい1名
市町村	那覇市3名 浦添市5名 宜野湾市1名 糸満市1名	那覇市3名 浦添市2名 宜野湾市1名
月平均利用時間	5.4時間	3.8時間
平均年齢	45歳	41歳
通勤支援	1名	7名



ティンボくん

ITサポート

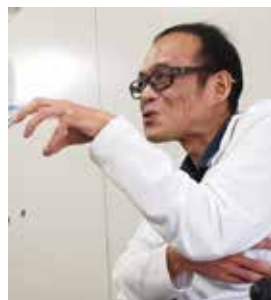
TEL:098-961-6715 / FAX:098-961-6716 営業時間:9:00~17:00 定休日:土・日・祝祭日

一般企業で働きはじめた卒業生講話会

去った3月30日(金)、ITサポートおきなわを卒業し、一般企業で働き始めた2人を招いて、就職を目指すスタッフに向けて、お話ししていただきました。



一人は、那覇でヘルパーさんを活用しながら一人暮らしをしている、脳性麻痺の男性の話でした。彼は、那覇市から沖縄市まで電動車いすと路線バスを使って通勤し、楽しく働いているという頼もしい現在を話してくれました。働くという事は、どういう事ですか?というスタッフからの問いかけに、彼は「働くという事は、決まりを守る事」と、答えてくれました。



もう一人は、沖縄協会の会員でもいらっしゃる方で、某有名企業レンタルリース部に勤務されています。ITサポートに来るのは卒業以来久しぶりで、彼の表情は「企業戦士」とも思えるくらい、変わっているように感じました。

彼は車いすならでの、雨天時の駐車場についての問題を挙げ、対応してくれる企業との相談方法についてお話が聞けました。

一般就労を果たせた彼は、次なる目標、希望についてもお話ししてくれました。

改めて私も、ITサポートおきなわの訓練生として、頑張りたいなと感じました。(美由紀)



一成さん卒業おめでとう

今回の卒業生は、那覇市役所に一般就労を決めた「島袋一成さん」。卒業&就職おめでとうございます!

一成さんとは約7か月間、ITサポートおきなわで一緒にいたが、仕事中はとても真面目で集中力があり、パソコンを操作してる姿はとても格好良かったです。

プライベートでも食事やカラオケに行ったりしますが、性格も明るく話も面白いし、また歌も上手です。

今は新しい環境で色々大変なこともあると思いますが、一成さんらしく、無理しすぎずに頑張ってください。応援してます!(田島)



ようこそ! ITサポートおきなわへ!

はじめまして。4月から「障がい者ITサポートおきなわ」で、職業アドバイザーとして働くことになりました、石川雄一郎(いしかわゆういちろう)です。

今までは広告代理店や印刷会社で、DTPオペレーションやデザイン等を担当していました。この度は、明るい雰囲気のパリアフリーな職場に勤める事ができ、とても嬉しく思っています。

私自身も、多発性硬化症という難病と、後遺症による平衡障害(毎日船で揺られているような感じ)を持っていますが、自分の体調も上手に管理しつつ、DTPに限らずスタッフの皆さんをサポートしていきたいと思っています。よろしくをお願いします。(石川)



◆ビジネスマナー研修◆



4月26日(木)、ITサポートおきなわでは、田港華子(たみなと はなこ)先生による、ビジネスマナーの研修がありました。

内容は「働く時の心がまえ(接遇)」。報告・連絡・相談、挨拶、ビジネスの言葉遣い(尊敬語、謙譲語)などなど。

最後に、電話対応のロールプレイングもありましたが、普段の業務では敬語を使う事も少なく、電話対応をしないので、難しく感じました。

研修の中で印象に残ったのは、家庭や地域で、朝の挨拶を明るく大きな声で始めると、自然なコミュニケーションを取れるようになるという事。

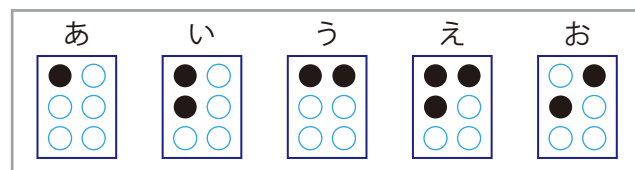
より良い人間関係づくりの入り口にもなり、自信にも繋がって、職場でもよい挨拶ができるようになる、という点でした。

私たち障がい者ITサポートおきなわでは、日常から職場内での挨拶を実践していこうと思います。

今回のビジネスマナー研修はとても良かったです。田港先生、ありがとうございました。(美由紀)

点字名刺はじめました

点字とは、視覚に障がいを持つ方などが、文字を読んだり、書いたりするために使う文字です。縦3点、横2点の6つの点の組み合わせからなり、63通りあります。50音や数字、アルファベット、記号を表す事もでき、すべて横書きで記載します。「点字」に対して普通の文字を「墨字」と呼びます。



ITサポートおきなわでは、名刺に点字をプリント出来るサービスを開始しました!

視覚に障がいのある方とのコミュニケーションツールになるのはもちろんのこと、点字の存在自体を広く知ってもらい、良い機会になると思います。

名刺から始めるパリアフリー、やってみませんか?

キャンペーン価格(1枚5円)

50枚 **250円**
100枚 **500円**

最短当日受取可!!

デザインそのまま
印字できます!

通常価格
(1枚10円)

50枚 **500円**

100枚 **1,000円**

編集後記

毎号、卒業の記事を掲載してきました。卒業される方の新たなスタートを励みに、私も頑張っていこうと思います!(又吉)

■ 29年度の一般就労につながった実績

	就労継続支援 A 型	就労移行支援
一般就労支援人数	7名	1名

■ 職員配置状況

	就労継続支援 A 型	就労移行支援
管理者	1名	1名
サービス管理責任者	2名	2名
就労支援員	-	1名
職業アドバイザー	2名	1名
生活支援員	1名	1名

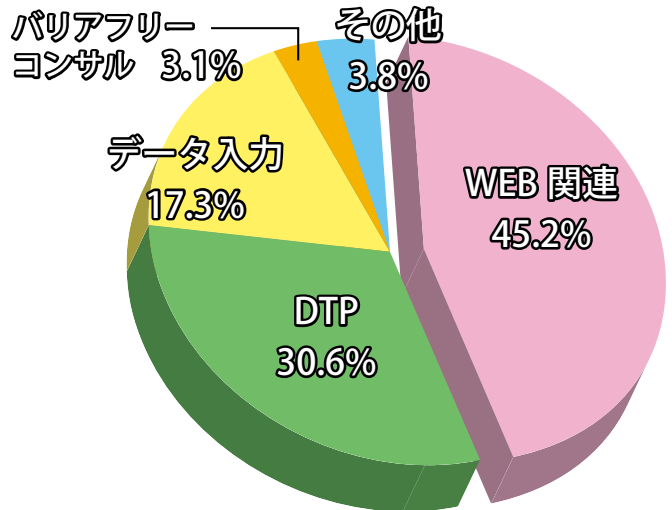
■ 就労継続支援 A 型事業の生産活動収支状況

生産活動収入	10,253,639
人件費支出	9,711,944
仕入原価支出	1,370,000
差引額 (生産収益)	-828,305



■ 障がい者 IT サポートおきなわ (A 型事業)
平成 29 年度 事業売上構成

分類	売上	総売上比率
WEB 関連	4,637,640	45.2%
DTP	3,138,142	30.6%
データ入力	1,769,055	17.3%
バリアフリーコンサル	321,225	3.1%
その他	387,577	3.8%
合計	10,253,639	100.0%



**からだの痛み・悩みを
自宅で解消!**

ご自宅や介護施設まで出張施術します!

病院と同じ健康保険証が使えます!

代表 林 秀一
 TEL: 098-867-0006
 FAX: 098-867-0008
 〒900-0004
 那覇市銘苅2-11-19
 グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院
 リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。

0120-680-006

フリーダイヤル
 mail: info@ryukyu-chiryoin.com
 http://www.ryukyu-chiryoin.com/

役員紹介



理事長

仲根 建作さん

平成22年度に再登板での会長となり8年目です。バトンタッチの時期になりましたがもう少し頑張ります。



副理事

神里 和彦さん

中々会の行事等に参加できていませんが、会の発展に微力ながら貢献出来る様に勤めたいと思います。



副理事

片倉 政人さん

微力ではありますが、協会の活動に協力をしていきたいと思っております。今後共、宜しくお願い致します。



理事

砂川 昭人さん

自分にとって当たり前なことは、同じ道を歩んだばかりの誰かにとって大切な情報だったりします。誰かのためになるお手伝いをさせていただきます。



理事

伊波 秀輝さん

沖脊協の活動が、会員の皆様により伝わるよう働きかけます。微力ながら、会員の皆様のお役に立てるよう努めていきます。



理事

上里 一之さん

仕事が忙しく脊損活動になかなか参加できていませんが、ピアサポート活動(病院訪問等)は行いたいと思います。



理事

山入端 依子さん

微力ながら頑張ります。よろしく願い致します。



理事

大城 昌彦さん

しばらく退いていた理事職を前期から改めて務めています。体力の許す限り頑張りますので宜しくお願い致します。



理事

小嶋 晴樹さん

今年度で理事4年目になります。不束者でございますが引き続きよろしくお願い致します。



理事

山川 朝教さん

微力ながら沖脊協の活動に協力していきたいと思っておりますので、今後共よろしくお願い致します。



監事

横田 清さん

活動の根幹であるピアサポート活動や、ITサポートおきなわの新たな事業である就労支援の強化に向けて、互いに協力していきましょう。

交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804号室
弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】 ☎(098) 963-6268

※ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。
移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など

調べてみました

障害者制度が新しくなったり変わったりしています

今年度から改正障害者総合支援法が施行され、新たな支援も創設されました。その中から障害者の望む地域生活の支援について情報提供します。ただし、新制度の事業所情報等は未だ開示されていないこともあるので留意してください。

新設 【自立生活援助】

施設入所支援や共同生活援助を利用していた者等を対象として、定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行うサービス「自立生活援助」が新設されました。

【就労定着支援】

就業に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を行うサービス（就労定着支援）が新設されました。

変更

【重度訪問介護の訪問先の拡大】

重度訪問介護について、医療機関への入院時も一定の支援が可能になりました。



【65歳後の障害者福祉サービス利用の緩和】

65歳に至るまで相当の長期間にわたり障害福祉サービスを利用してきた低所得の高齢障害者が引き続き障害福祉サービスに相当する介護保険サービスを利用する場合に、障害者の所得の状況や障害の程度等の事情を勘案し、当該介護保険サービスの利用者負担を障害福祉制度により軽減（償還）できるようになりました。

西原町自動車改造助成制度

廃止!?

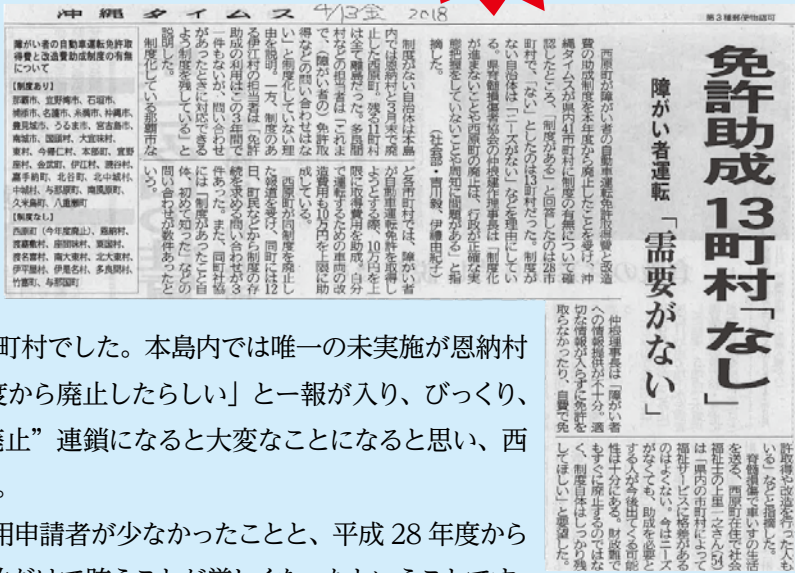
4月12日沖縄タイムスに「障がい者の運転助成廃止」と大きく取り扱った記事が掲載され驚いたと思います。

同助成事業は脊損者にとっては大切な重要な支援制度です。これまでも未実施の市町村に対して制度化の要請行動をしてきました。よって平成29年度までには39市町村実施となっていて、多くが離島町村でした。本島内では唯一の未実施が恩納村だったのが、突如「西原町が平成30年度から廃止したらしい」と一報が入り、びっくり、ショックでした。今後、他の市町村に“廃止”連鎖になると大変なことになると思い、西原町に対して復活のアクションをしました。

理由は「財政難」で、同助成事業の利用申請者が少なかったことと、平成28年度から同助成事業の国の補助金が無くなり町財政だけで賄うことが厳しくなったということです。

西原町の苦しい台所事情は確かなことですが、どうして「1件10万円の助成制度」に手をつけて配する必要があるのでしょうか。沖脊協として要望したのは「廃止ではなく申請があった際に予算補正を確保して対応する方法」を求めましたが答えは「復活は難しい」と一蹴されました。

西原町は「平成28年度から国の補助金がなくなった」としていましたが、実質は地方交付税化になっていて、0(ゼロ)ではありません。回答も間違いでしたので、引き続き助成事業の復活に向け継続して要請行動をしていきますので応援よろしくお願ひします。





LaLa Primo



今回のバリアフリースポットは「LaLa Primo 琉大東口店」に行ってきました！

沖縄で洋食中心のカフェ&レストランをチェーン展開しているお店です。

出入口は段差もなく、店内も広々としていて車いすでもスムーズに移動出来ました。

お客さんは女性客が多く、大学が近いということもあり学生さんも何組か来ていました。

豊富なメニューの中から、私たちは悩みに悩んでカレー、ランチプレート、リゾットをそれぞれ注文しました。プラスでセットメニューも付けられ、サラダ・スープなどがビュッフェスタイルになっていて、お腹も満足な内容でした。

メニューの中には、パンケーキなど女子心をくすぐるデザートもあり、女子会の会場として利用する

のもいいですね♪

一番重要なお手洗い

も広々として手すりも

両サイドにあり、車いすからの移動がしやすい作りになっていました。

お腹も満たされ、おしゃべりも一段落したら、向かいのカラオケで二次会もありですね！ぜひ、行ってみたいはいかがでしょうか？



LaLa Primo 琉大東口店

住所 〒901-2424

中頭郡中城村字南上原 1021

電話 098-943-2325

時間 11:30 ~ 23:00



R.C.Y. Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック やまぐち

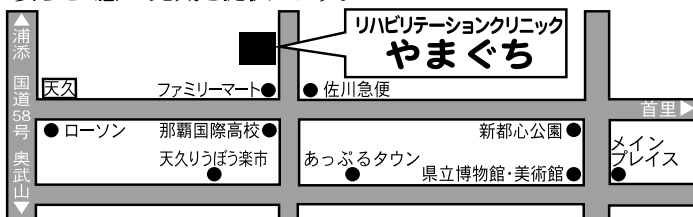
〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
TEL098-864-1100

診療スタッフ

院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶身体機能訓練
	▶身体能力訓練
	▶言語訓練
	▶摂食嚥下訓練
	▶認知訓練
診療時間	月 火 水 木 金 土
午前 9:00~11:30	○ ○ ○ ○ ○ ○
午後 2:00~ 6:00	○ ○ ○ / ○ ○

安らぎ・癒し・元気を提供します。



ちはる歯科クリニック

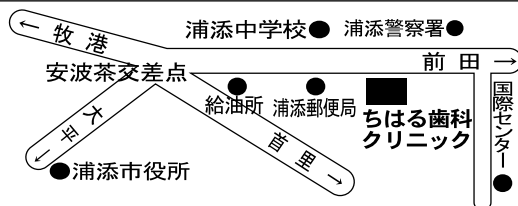
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています！

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。



お知らせ

脊損サポート情報

新聞でも掲載されましたが、沖脊協では脊髄損傷者に必要な社会参加や医療などの情報をまとめたガイドブック『脊損サポート情報』と『Together (統合版)』の2冊を発行しました。

『脊損サポート情報』には、脊損者に必要な福祉制度情報や車椅子等の給付制度、補装具の説明や申請方法、市町村の障害保健福祉担当課一覧などの情報が盛りだくさん。Togetherは全脊連が発行している Together1～13を一つの冊子にまとめたもので、排泄、褥瘡、住まい改造などの脊髄損傷者が必要としている情報が詰まった冊子です。

欲しい方は無料で配布していますので、事務所へお問い合わせ下さい。



ピアサポート HP 完成

「突然車椅子の人生を歩むことになってしまった」などの理由で、どこへ相談してよいか分からない方に、全国各地のピアサポーターと繋がりやすくなるホームページをこのほど開設しました。

アドレスは「<https://peer-s.net>」。ホームページでは、全国各地の相談(ピアサポート)希望者が申し込むと、近隣の脊損連合会支部の担当へ連絡が行き、ピアサポーターとスムーズに繋がります。他にも社会参加への参考となるガイドブックやさまざまな関連情報へのリンクもあります。

※このホームページは全脊連本部が制作し、障がい者ITサポートおきなわが運営しています。



寄付のお礼

元会員の下地博治さんが昨年亡くなられ、一年忌法要が終わってということで、ご家族から寄付と併せ、未使用の自助具を寄贈いただきました。

寄付については有効に会活動に活用させていただきます。ありがとうございます。

自助具については、利用希望の方に提供しますので、次の写真からご希望の方は事務局にご連絡ください。



編集後記

梅雨の時期ですがまったく雨が降らず、雨が恋しくなってきました。日中は熱中症には気を付けて細めに水分補給をしましょう♪

今号から、新しいソフトを使用し編集しました。まだ使い慣れていないため悪戦苦闘中ですが…が今まで使用していたものより便利になり、作業効率も上がるかなと思います！今後もしゃりんのご愛読よろしくお祈いします！（又吉）

表紙写真：第6回沖脊協通常総会で講話をして頂いた日本マイクロソフト株式会社の人事本部の普久原朝親さん